

新学年に向けて

いよいよ新学年を迎えます。子どもたちは、「今年もがんばるぞ」とか、「今年こそは…」などとさまざまなことを考えていることと思います。いずれにしても、どの子ども新しい学年に向けて新たな気持ちになっっていることと思います。そして、夢と希望に胸を膨らませていくことと思います。そんな子どもたちのやる気を大切に一年間を健康に元氣よく過ごさせてやりたいものです。

◎子どもの話を聞いてやる

子どもたちは、学校生活の中で実にたくさんを経験して帰ってきます。楽しかったこともあるでしょうし、つらかったこともあるでしょう。子どもたちは、その一つひとつを誰かに聞いてもらいたくしてかたありません。その子どもの願いにしっかり答えてやるのが大切だと思います。忙しい毎日の中でも大変だとは思いますが、

「後でね」

ではなく、きちんと聞いてやってほしいと思います。

特に、つらかったことや嫌だったことに対しては、よく話を聞いてやり、励ましてやってほしいと思います。そのことにより、子どもたちは、自分の行動を整理し、

どうすれば良いのか自分の頭で考えられるようになっていくと思えます。また、親子の信頼関係もさらに強まり、明日もまたがんばろうという気持ちになっていくと思えます。

また、子どもたちは、とても疲れて家に帰ってきます。それは、毎日非常に多くの内容を勉強しているからです。そして、たくさん友だちや教師などのなかで生活し、嫌でもやらなければならないことばかりです。



さんあるからだと思いません。

特に最初のうちは、新しい環境の中でとてもたいへんなようです。家に帰ってほっとすることでしょう。そんなとき、お家の方々の一言が子どもに与える影響はとても大きいようです。子どもが「さあ頑張ろう」という気持ちになるように優しく温かく迎えてやりたいものです。

帰るなり、

「宿題やりなさいよ」

では、子どもはさらに疲れてやる気をなくしてしまうだろうと思えます。

◎子どもに家事労働を

子どもの自立に欠かせないものに家事労働があります。新しい学

年を迎えるこの機会に子どもとよく話し合っただけ家事労働の分担をしたら良いと思えます。

今の子どもたちには生活能力がないなどよく言われます。でも、そんな子どもたちに育てたのは大人たちです。子どもから仕事をとってしまうのではなく、たくさん仕事を経験させて一人の自立した人間として生きていく上で必要な衣・食・住についての基本的な技能を伝えていく事が大切だと思います。そして、自分一人でも生活できるようにさせてやりたいものです。

また子どもは、仕事をする事により、人間として生きていく上で大切なことをたくさん学ぶことができますと思えます。

自分がお風呂を沸かすことにより、家族は、温かいお風呂に入り一日の疲れをいやすことが出来ます。「気持ちがいいね。〇〇ちゃん」がやってくれたからね」などと話しながら一緒に風呂に入れば良いですね。

このように、自分が仕事をする事は、他人の役に立つんだという事を学ぶことも出来ます。また、仕事をする中で、どのようにしたら上手に効率良くできるかなどを考えることもあるでしょう。さらに、根気強さや協力することの大切さなども身に付けることができると思えます。

商家資料館から

「ふるさとの昔にふれてみませんか」



その昔、今から三百年以上まえから、この山梨県東部地方の政治・経済、産業等の中心地であった谷村の町は、甲府とともに栄えて来ました。

この東部地区(南北都留郡地方)の産業の最も盛んだったもの一つが養蚕にともなう絹織物でした。

この絹織物は「郡内縞」として、江戸時代から広く全国に知られていました。

この商家資料館は、ここを本拠

とした仁科家が、その絹織物(後に甲斐絹と呼ばれる)の仲買いを営まれて成功を収め建築された建物で、平成五年一月十八日に都留市の「有形文化財」に指定されて、その中へ市内の有志の皆さんから、江戸時代から現代までの珍しい生活用具等を寄託展示いただき「ふるさと」の昔を知るすばらしい文化財となっています。

昭和の中ごろまでは、この谷村のまちには、このような土蔵造りの絹織物の問屋さんが、数多くあったと言われています。

建物の中で使用されている材料ばかりでなく、昔の職人さんのすばらしい技術や、考えを実際に触れられると同時に「ふるさと」の歴史とその足跡に触れることができます。

入館は無料で、毎週「火曜・木曜・土曜・日曜と国民の祝日」の午前十時から開館しています。問合先 社会教育課 文化振興係

専門調理師・調理技能士になりたい方は…

専門調理師・調理技能士の国家試験は、毎年、前期と後期に分けて実施されています。前期は「すし料理、中国料理および給食用特殊料理」、後期は「日本料理、西洋料理および麺料理」について試験が行われます。

試験は、学科試験と実技試験があり、両方に合格しますと、厚生大臣からは「専門調理師認定証書」、労働大臣からは「調理技能検定合格証書」が交付されます。

前期の試験は4月1日から、後期の試験は8月18日から受け付けます。

問合先 (社)調理技術技能センター ☎03(3584)1931